

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成30年5月9日(水) 18:30～21:20

場所：市役所第一会議室

日程

1. 開 会
2. 境港市民活動推進補助金審査
3. 今期取組テーマについての協議
4. 閉 会

出席者（敬称略）

（委員）

渡部敏樹 遠藤恵子 松本幸永 徳尾勝 松本信子 渡辺冬樹
糸川諒 足立勲

（事務局）

伊達憲太郎（総務部長） 沼倉加奈子（地域振興課長）
片岡直人（地域振興課企画係長） 渡部大樹（地域振興課企画係主事）

（傍聴者）

なし

欠席者（敬称略）

松田真二 遠藤緑 門脇京子 岩本和貴

<開会>

（会長）

皆さん、こんばんは。お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。
これより平成30年度第2回目のみんなでまちづくり推進会議を開催いたします。
本日は、ご案内させていただいたように、先に市民活動推進補助金の審査をして、その後、
午後8時ごろより、今年度の取組テーマについて協議したいと思います。なお、本日は、
遠藤緑委員・松田委員・岩本委員が欠席です。また、門脇委員につきましては、今回の審
査団体となっていることから、審査会終了後より、委員としてご出席いただくこととなっ
ております。

さて、4月の人事異動で総務部長と事務局の人員が変わられましたので、簡単にご挨拶
をしていただきます。

(総務部長)

みなさん、こんばんは。総務部長の伊達です。みなさん、これまでもお世話になっている方ばかりですが、今年度もよろしくお願ひします。

(事務局)

みなさん、こんばんは。4月の異動で地域振興課に配属になりまして、みんなでまちづくり推進会議の担当になりました片岡と申します。よろしくお願ひします。

(会長)

ありがとうございます。それでは、市民活動推進補助金の審査に移りたいと思ひます。事務局より説明をお願ひします。

(事務局)

本年度、2回目の募集をしまして、一般事業に2団体、緑化事業に10団体の申請がありました。審査員の皆様には、事前に書類審査をしていただひており、お忙しい中、ありがとうございます。

事前審査による申請団体の評価点は、お手元の資料のとおりとなりましたので、ご確認ください。審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、この後行われるプレゼン後に得点修正があればそこで修正していただき、審議をしていただきます。

それでは、本日の審査会の進め方について説明いたします。

ヒアリング審査員3名と地域振興課長の計4名でヒアリング審査を行います。ヒアリング審査員3名については、あらかじめ事務局の方で、決めさせていただきました委員の方にお願ひしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※委員異議なし

続きまして、ヒアリング審査の仕方を説明いたします。

今回ヒアリング審査を行う団体は一般事業の2団体です。まず最初の3分間で申請団体から申請概要説明をしていただきます。その後、残りの12分間でヒアリング審査員の方に質疑をしていただきます。質疑にあたっては、このあと、委員の皆さまでどのような質問をするか、また誰がどの質問をするかという打ち合わせをする時間を設けたいと思ひます。ですので、質疑にあたっては、ご自身で考えられた質問のみならず、お手元にあります「審査表集計結果」にあります皆さまの意見を委員の代表として述べていただくようお願ひいたします。なお、質疑の間、ヒアリング審査員以外の方には、傍聴をしていただきますようお願ひいたします。

プレゼン終了後に皆様で審議していただきます。そこで、事前にご記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考にしながら採択・不採択の決定を行っていただきます。各

事業とも30点満点で、6割の18点が採択の基準点となっております。なお、2団体目の境港市・環春市友好25周年記念写真展実行委員会につきましては、代表者が門脇委員であることから、門脇委員を除いた11名で点数計算をいたします。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。無いようでしたら、審査内容の打ち合わせを行いたいと思います。

※委員質問なし

<打ち合わせ>

- ①ヒアリング審査員のうち、誰がどの質問をするか振り分け
- ②質問の意図を確認

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 さかいみなと中野港漁村市実行委員会

- ・申請事業 漁村市出店増強計画
- ・事業内容 沿岸漁業で獲れる魚は、少量だが様々な魚種が水揚げされており、中野港漁村市にて、魅力の普及に努める。

(委員)

年々グレードアップしており、素晴らしいと思います。多くの方々を巻き込んでおられますが、その中で米子市の若手職員を巻き込む理由を教えてください。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

以前、米子市の若手職員の会で私が講師をさせていただきました。その際にお誘いしたところ、参加してもらえることになりました。

(委員)

県や市の職員の参加が10名程度とありますが、参加してもらえる確証はありますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

強制ではないのですが、ライングループを作っておりまして、参加の確認をしております。

(委員)

人員的には10名程度で事業ができるわけですね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

いざとなったら、私の店の従業員を連れて行くこともできますので、問題ありません。新人が入りまして、社会経験にもなりますし。

(委員)

総合高校の生徒も毎年参加されていますが、今年度はどれくらい参加されますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

8名が参加し、最初の1回だけ7名の参加です。総合高校とは年間を通じた関わりがあり、漁村市で現場を体験してもらった上で、10月頃には総合高校に地域の方を招いて、生徒が沿岸の魚を振る舞う「さかな食堂」を行います。

(委員)

高校生という点では、米子南高校も食品関係に強いかと思います。米子の学生が境港に愛着を持ってもらえたら良いかと感じますが、連携は考えておられますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

仰るとおりなのですが、米子南高校には調理科があり、調理師会との繋がりがあるので、その他の団体はなかなか入り込めません。境港総合高校は近いですし、何より、今後の境港を担う人材を育てるという点で、やはり重点的に連携したいと思っています。

(委員)

備品の見積先がネットからのものが多いですが、地元の店舗を活用する考えはありますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

ガス屋でコンロの値段を聞いたところ、ネットに比べ1万円くらい高かったです。税金で賄われる補助金を使う以上、少しでも安い方が良いかと思い、ネットで購入しようと考えています。

(委員)

会場が近いので、毎年行かせていただいております。一消費者として質問させてください。毎年、行列がすごいです、「買えなかった」という苦情はありませんでしたか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

最後は売れない魚が残ります。ですので、鮮魚が売り切れたことへの苦情はありません。ちなみに、メゴチやカワハギなどがよく残り、うちが買い取ります。

(委員)

「さかいみなとサーモン」が出るとのことですが、どれくらいの安さで当日は出るのでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

通常、業務店価格で1kg1,050円で仕入れられるところを、漁村市価格ということで、1.5kgを1,000円で仕入れさせてもらっています。それを1,500円で販売して、利益を運営費に充てています。

(委員)

鮮魚の販売は10時からですか。ほかのテントは9時ごろからやっていますね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

出店者には準備ができ次第やっというとは言っていますが、正式には9時半からです。ですので、10時より前に鮮魚以外にものを買ってもらって、10時からは並んでもらって、昨年の9月の回より、車の展示もしていますので、あわよくば車も買ってもらえたらと。何でもありの昔の商店街をイメージしてやっています。そのためにテントが必要で、また、風が強いので重りが必要で、ということです。

(委員)

民放の生放送でのPRを実施するとのことでしたが、どれくらいの効果を期待しておられますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

テレビの生中継が60万、ラジオが10万、それならやめようということで、代わりに看板を作りました。

(委員)

新聞の折り込みやポスターを配布も考えておられると思いますが、どれくらいのエリアを想定していますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

ポスターについても予算がなく、知り合いにインクと引き換えに12枚作ってもらいました。配布先は県庁・西部総合事務所・市役所・総合高校・商工会議所などです。折り込みは県の補助金を使って、市内に約1万枚折り込みされます。米子を加えると費用がかかりますので、エリアは境港のみです。ただ、私が日本海新聞で記事を書いておりますので、紙面に宣伝記事が載ります。それから、朝日新聞も取材があったので、後日掲載され

ます。マスコミには常に情報提供をしています。

(委員)

来場者の予想人数はどのように算出していますか。それから市内の方はどれくらい割合でしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

過去のデータからです。参加者はほとんど地元ではないでしょうか。見た顔ばかりです。特に、年配者は放送が聴こえたら魚を買うという習慣があるようです。今は中野町地区しか放送していませんが、R431沿いの地区には放送してほしいですね。本当は、市内全域に流してほしいです。

(地域振興課長)

最近、農業や漁業が若い人にとって魅力を感じる事業となってきましたが、移住をして漁業をしたいという声は聞いたことがありますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

当日は、縁の下の力持ちで動いているので、あまりそういった話は聞いたことがありません。

(地域振興課長)

5年で漁業者の自立を促したいということで、今回6年目ということですが、同じ方が継続して参加しておられるのでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

数人は「やってられん」ということで途中で抜けられました。みなさん、一人親方で会社ではないので。そういった方々を束ねるだけでも大変で、5年もよく続いたと思います。6年目からはステップアップして、大山を望める漁村の風情漂う中野港のロケーションを生かした6次化の拠点を作ることも検討しているところです。

(地域振興課長)

単なる一過性のイベントではなく、計画性のある事業だということですね。

～1団体目終了～

◇2団体目 境港市・瑋春市友好25周年記念写真展実行委員会

・申請事業 境港市・瑋春市友好25周年記念写真展

- ・事業内容 本市及び中国・琿春市内の写真愛好家団体が撮影した写真や琿春市を紹介するパンフレット、市内地図等を展示する。

(会長)

写真展を見るにあたり、海とくらしの史料館の入館料は必要ですか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

通常は有料ですが、この写真館にお越しになる方は窓口でお声掛けいただければ、無料でご覧になれるよう調整しています。

(会長)

写真展というのが愛好家だけの興味に留まるのではという気がします。写真展以外に市民の興味を引くようなイベントは考えておられますか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

中国の風景や様子をビジュアルを通して知ってもらいたいというのが目的ですので、写真や地図、説明文のパネル展示を考えています。また、できたら映像も使っていけたらと考えております。

(会長)

写真展をきっかけに今後、どのような事業展開を計画されていますか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

私もどのような交流の形があるのかというのをノウハウがない中で、県の国際交流財団等の関係機関と話をし、写真展をするに至りましたので、今後の展開というところはまだ手探りの状態でして、皆さんのお知恵を借りて考えていけたらと思っています。

ただ、この写真展をきっかけに民間の交流というのが盛んになればという気持ちはありますし、次は琿春市の方で写真展ができればとも話しています。

(会長)

他市では、どのような交流をしているのか、分かれば参考に教えていただけますか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

米子市では中国の保定市と姉妹都市になっておりまして、官民挙げて交流をしていると聞いております。写真においては、両市の写真の協会の方が個人的な繋がりで見学をされたりして、交流を重ねていると聞いております。

(委員)

私は琿春市との交流というのにまったく意識がなく、初めて知りましたが、私のような意識がない人に向けてどのようにPRしていきますか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

私たちもその点は課題だと感じているところです。情報提供は市報やマスコミを使って広く行うのですが、興味のない方にどのように伝えていくかは、今後、実行委員会の中でよく話し合いたいと思います。

(委員)

お恥ずかしながら、私も友好都市であると知りませんでした。過去にはどのような交流があったのでしょうか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

個人同士での交流はホームステイ等多くありますが、民間の団体としては、私の知る限り、過去にはありません。それもあって、25年という節目ですし、この機会に皆さんに知ってもらいたいと思っております。

交流ではないのですが、私どもの団体の事業としましては、平成23年1月に夢みなとタワーで中国映画の観賞会と琿春市を知っていただくミニ講演会を行いました。その際に、市の国際交流員の方に中国のことや、琿春市の人々の生活のこと等を話してもらいまして、市民の方々に琿春市について学んでいただきました。

(委員)

チラシやポスターを作られますが、一般市民に関心を持っていただくためにどのようなものを作られますか。

(境港市・琿春市友好25周年記念写真展実行委員会)

デザインの部分まで考えておりませんので、これから実行委員会の中で考えていきたいと思っております。PRという点で今思いつくのは、市の国際交流員の方に各学校の児童・生徒に呼びかけてもらうといった協力をしていただけたらと考えております。

(地域振興課長)

友好25周年記念写真展という行政がしても良いようなイベントをまさに「協働のまちづくり」で実施していただくことに感謝しているところです。さて、イベントが割と長い期間での実施となり、海とくらしの史料館としてもありがたい事業ではないかと思っておりますが、史料館の方で相乗効果を図れるような自主事業を行うという話は聞いておりませんか。

また、写真クラブの方以外に、一般市民の中にも琿春市との交流の写真をお持ちの方が

いるかと思しますので、そういった方々からも写真を集めてはいかがでしょうか。そうすれば、自分の写真が掲載されるのを見に来るといふ方も集められると思います。

(境港市・瑋春市友好25周年記念写真展実行委員会)

史料館との連携についてはまだこれからです。ただ、ご提案いただいた一般の方から写真を集めるというのも面白いなと感じましたので、これから実行委員会の中で考えていきたいと思ひます。

(地域振興課長)

見に来た人が「懐かしい」「ありがたい」と思えるような写真展であれば良いと思ひます。これから30周年・40周年と交流を続けていくための取組みだと思ひますので、行政としても支援をしていきたいと思ひます。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思ひます。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思ひます。(以下、非公開)

<審査会終了> (非公開、終了)

続いて、今期の取組テーマに移りたいと思ひます。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

前回の推進会議で、第6期で取り扱うテーマを決めていきたいと思いますというお話をさせていただきました。その中であくまで例として、4つ事務局から情報提供をさせていただきました。その上で、委員の皆さまには、そのほかに案があれば考えておいていただき、次回の会議でテーマを決定しようという流れでした。

前回挙げさせていただいた例というのが「①自助・共助・公助について」「②境港市の市民活動について」「③境港市のまちづくりについて」「④みんなでまちづくり条例の見直し」の4つでした。実は、毎熊アドバイザーにこの話を持って行ったときに、もう少し情報提供をしないとイメージが湧かないのではとのアドバイスもいただきました。ですので、今回は前回挙げさせていただいた4つの例について、事務局から話していきたいと思ひます。それで、今回の会議でテーマを決めるということでしたけれども、毎熊アドバイザーからは2年間ある中で急いで決める必要もないだろうと。テーマが決まれば、方向性も見えてくるので、テーマを決めるのに時間をしっかり使った方が良いとの意見をいただきましたので、テーマを決めるのが次回に持ち越しとしまして、今回は、より深くテーマにつ

いて考えて頂けたらと思います。

では、さっそく説明に移りたいと思います。まず【基礎資料】と書かれた資料をご覧ください。

※以下、資料に沿って説明

事務局からの説明は以上になります。

(会長)

では、以上の説明について、ご意見がある方はいますか。

(委員)

境港市の課題の一つが大学がないということだと思いましたが、島根大学からは1時間で行ける距離にあります。私も島根大学の中で新しい団体を作りまして、学生が地域の課題を持ってきて、それを解決するようなプロジェクトをやっていくというものです。その拠点が雲南市にあるのですが、その拠点となる建物を地域と一緒にリノベーションしようとしていたら、新入生が3、40人入ってきました。雲南市は山や緑があって、そこに憧れを持って人が集まったのだと思いますが、境港市も海や魚、あるいは鬼太郎というのがあるので、それらを生かして、尚且つ、学生も絡めるような企画があれば良いのにと 생각합니다。そうすれば、まちづくりの発展に繋がるのかなと思います。

(委員)

鳥取県内でも、鳥取市・倉吉市・米子市と大学があるのですが、境港市だけがないので、大学生との交流は魅力です。

(委員)

雲南市は住民の受け入れたいというニーズと、学生の入って行きたいというニーズが合致しています。境港市の住民の方の中にもある程度そういう方はいらっしゃるのではないのでしょうか。その受け入れの体制さえ出来ていれば、距離的には雲南市より境港市の方が近いので、みんな来たがるはずなんです。

(委員)

松江市から直通バスも出ていますからね。

(会長)

最近の動向は分かりませんが、かつては境港市の教育活動なんかに島根大学の学生に入ってもらっていたこともありました。

(委員)

日南町なんかは鳥取大学から学生がボランティアも含め、多く来ています。一方、境港市には来ていないのは、受け入れ体制が出来ていないからです。やはり、雲南市のような中山間地は街自体が必死で、そういうところには学生も流れていきますが、境港市はなんか中途半端で、住民も悲壮感を持っていません。私も講演に呼ばれるのですが、中山間地ばかりです。狭い農地をどうやって活用しようか、どのような作物を作って、海外で売るためにどうするかというところまで話しています。境港市では、農地はあるけど、ほったらかしで、荒廃地だらけです。考え方が全く違いますよね。私の団体は松江市に拠点を置いているので、島根大学の理系女子の団体なんかとも交流があります。境港市だけで活動してはなかなか交流することができません。

(総務部長)

学習支援というところでは、島根大学の学生がこうほうえんに入っています。

(地域振興課長)

一度まとめます。要は、島根大学に学生コミュニティがあるので、境港市に拠点を置いてもらえれば、学生が主体になって、市民を巻き込んで活動して、地域の活性化に繋げていくことができるということですね。

(委員)

はい。現在は、雲南市だけなので、他の候補地があっても良いと思います。海派と山派と。

(委員)

水木しげるロードでも、観光関係の勉強をしている学生がよく視察に来ています。ですので、水木しげるロード・おさかなロードというのをもっと活用するために、学生などから意見をもらえたら良いのではと思います。

(委員)

ただそういう活動のためには団体を作らなければいけません。個人個人が活動してもしょうがないです。団体を作って、どういう方向に向けてやっていくかを明確にする。そこに学生が入って行く。そうでないと、学生も来づらいですよ。

(委員)

そういう合同チーム、当然、行政にも入ってもらって、一つの団体を作れば、早いかもしれませぬ。

(委員)

最近、聞いている限りでは、学生はみなさんが普段やっていることをやりたいみたいですね。

(委員)

日南町なんかでも、「柿のもぎ取り」に人が集まるんだそうですね。それで、その柿をどうするかを一緒に考える。

(会長)

「企業誘致」よりも、今あるものを生かす「起業・創業」にもっと力を入れていくべきですね。

(委員)

誘致して働く場所はできるかもしれないですけど、長続きするかも分かりません。大事なのはここに根付いたものをどうやって興していくかです。そういう意味では、漁村市には期待しています。そこに若い人が加わっていければ、また新しいアイデアも出てくると思いますよね。私たちも総合高校と一緒に中海の赤貝を使って商品開発をしようとしています。

(地域振興課長)

話は尽きませんが、今回のところは、前回あげた例をより深く理解してもらうための一助となるよう資料を用意させていただいたところです。そして、先ほど、委員からも島根大学の学生との連携というところで一つ提案をいただきましたので、次回、毎熊アドバイザーに来ていただき、これらの提案の中から少しずつ協議するテーマを絞っていけたらと考えております。また、今あがっている提案のほかに、こんな提案もありますとか、こんな資料がほしいというのがありましたら、次回までにお聞かせいただけたらと思います。

(委員)

地域に稼ぐ力があれば、人は集まってきますので、「稼ぐ地域」というのを一つテーマとして考えてみたいと思います。

(委員)

境港といえば、漁業のほかに伯州綿がありますよね。インターンシップで伯州綿をしてもらってはどうかでしょうか。それをきっかけに住んでもらう人が増えればいいと思います。人口の暗いデータを見てしまうと、何とか人を呼べないかと考えてしまいます。

(委員)

伯州綿も難しいです。非常に販路が狭く、単価も高い。なかなか突破口が見えません。

せっかく200万人も観光客が来るんで、その1%でもいいから興味を持ってもらえるように、一連の作業が体験できるようなところがあればいいんですけどね。

(委員)

伯州綿も一生懸命やって、何とか採算性が取れないものかなと見ていましたけど。難しいんですね。

(委員)

みんなでまちづくり条例の中に「参加」というのがありますよね。ですが現状は、一人の人間が多く役を持っていて、全体からすると、ごく一部の人間しか参加していません。伯州綿だけでなく、どうやって人を集めるかというのは課題であるかと思います。

(会長)

一つ、島根大学の学生との連携というのはヒントになるかもしれません。新しい視点で色んな意見をもらえるといいかもしれません。

(地域振興課長)

体験型農業やインターンシップという話も出ました。この辺りも候補の一つとして、次回に向けて検討していきたいと思います。

(会長)

他に意見はありませんか。それでは意見交換を終わりたいと思います。事務局から何かありますか。

(事務局)

次回の推進会議についてですが、毎熊アドバイザーと一緒にテーマについて、時間いっぱい協議したいと思います。日時は既に決定しておりまして、7月3日(火)18時からです。よろしくお願いします。

(会長)

それでは、以上をもちまして、第2回のみんなでまちづくり推進会議を終了します。委員の皆様、長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。